

# 「パンスタードリーム」乗船会余話

会員 福富 廉

本学会の「パンスタードリーム」の乗船会に参加して、その自由行動時間に、釜山から電車で約1時間半の所にある蔚山市、今では世界の造船業界をリードする現代重工業の本拠地を訪ねて、その繁栄ぶりを見てきた。また、併せて、釜山港では予期せぬクルーズ船に遭遇したので、釜山港の素晴らしさをも併せてレポートしたい。

## 1. 現代重工業と蔚山

釜山の北約50km程の所にある工業都市・蔚山（ウルサン）、一度、その造船業の繁栄ぶりを見に行きたいと考えていたので、短時間ではあるが行ってみることにした。蔚山へは韓国新幹線 KTX や在来線、高速バスでも行けるが、何年か前にできたメトロ・東海電鉄線が釜山駅からだと1度乗換は必要だが、便数も多く蔚山の繁華街にも近いので利用した。

造船所を見物すると言っても業務視察でもないし、もちろん見学コースがある訳でも無いので、事前に GoogleMap でどこかに展望台や見える場所が無いか調べたら、ありました！、「蔚山大橋展望台」、標高140mの山の上に高さ63m（合わせて海拔203m）のタワーがあって、しかも無料。ここに行けば、多分見えるだろうと、バスルートも調べて行ってみた。ただ、気になっていたのは撮影してもいいかどうか、これは現地の係員に確認したら笑顔でノープロブレム！、ホッとした。

景色は予想通り、現代重工の巨大な本工場は遠く、間にマンション群が聳え立っていたので少ししか見えなかったが、眼下に現代尾浦造船（ミポ造船）、南側に現代重工の第2工場があって、午後の逆光で見づらくはあったが、そこだけでも5つの建造ドックと十数隻の艦装中の船を見るこ



蔚山港の概要



とができた。簡単に言えば、長崎と下関と呉を合わせた以上の規模を感じ、巨大コンテナ船から LNG 船、タンカー、アコモデーション・シップ、軍艦等々、種類も様々。かつては造船業に関わったこともある筆者としても、予想はしていたが圧倒されるばかりであった。

もう一つ気になっていたのが、対岸の長生浦地区、ここには長生浦クジラ博物館があって、どうやらすぐ傍に保存軍艦もあるらしい。既に日の入り近くではあったが、そこはクジラ博物館を中心としたシーサイド・レジャー拠点で、保存軍艦「蔚山」やキャッチャーボート、ホエールウォッチングの観光船等があって、次回はゆっくり訪ねたいところだった。



長生浦から見た蔚山大橋展望台  
手前は現代尾浦造船



蔚山大橋展望台の眼下に見える現代尾浦造船  
4つの建造ドックが並んでいる



現代重工第2工場  
ドックの周りに巨大コンテナ船2隻、LNG船1隻、  
アコモデーション・シップ1隻が確認できた



現代重工第2工場で建造中の  
コンテナ船「CMA CGM ERMITAGE」  
この船の左側と展望台の真下で同型船がもう2隻艀装中だった



現代重工本工場（マンションの奥、端から端まで全体）



左の写真の右端部分、大型LNG船が2隻見える



現代重工本工場の南端で  
 艤装中のマースクラインの  
 1.6万TEU大型メタノール  
 燃料船の多分2番船  
 (18隻建造)  
 1番船の「ANE MAERSK」  
 は2月就航済み

(前頁の全望写真のさらに右側)



長生浦から見た現代重工第2工場



韓国海軍保存艦「蔚山」(FF-951) 1981-2014 就役



ホエールウォッチング観光船  
 「ULSAN TAEHWA」



長生浦クジラ博物館前の捕鯨船



## 2. 釜山港

前日の「パンスタードリーム」の入港に備えて釜山港付近の船を MarineTraffic でチェックしていたら、釜山港の西の外側に「EASTERN VENUS」が泊っていることがわかった。そう、元の「ぱしふいっくびいなす」だ。どうやら中国での改装が終わって回航されてきたようだ。「パンスタードリーム」の船上からは遠く、しかも他船に隠れてほとんど見えなかったため、これも GoogleMap で調べて、釜山港の西側の影島の先の太宗台近くに行ってみることにした。視界が良かった前日と違い、もやのたちこめるひどい状況だったし、かなり遠くだったが、なんとか撮影することができた。写真を見てみると、前との違いはファンネルマークと船尾の赤いラインが確認できる。



釜山沖に停泊中の「EASTERN VENUS」(元、「ぱしふいっくびいなす」)

もう一つ、当日の朝、「EASTERN VENUS」の動向をチェックしていたら、釜山港口に RCI の「NAVIGATOR OF THE SEAS」の存在がわかった。ボイジャー・クラスの後期船でバルコニーサイドが異なる船だ。事前にチェックした Cruise Timetable には無かった予定なのでびっくりしたが、釜山港大橋の外側の国際クルーズターミナルに入港した。その撮影のためにバスを途中下車。そこは、韓国海洋大学から国立海洋博物館につながる広大な臨海公園で、この公園から見る景色は、釜山市民が客船ターミナルや向かいのコンテナターミナルを直接見て楽しめる、素晴らしい場所だった。ちなみに、クルーズターミナル付近に人影は無く、「NAVIGATOR OF THE SEAS」の前後の動静を調べたら、ロサンゼルスからシンガポールへのドック回航の途中だったようだ



釜山国際クルーズターミナルの「NAVIGATOR OF THE SEAS」

また、国立海洋博物館の外側には世界一周したヨットが2隻、小型の潜水艦が1隻展示されていて、ここも次回また来ようと思った。ちなみに、釜山港大橋のたもとにも、もう一つ、小さな臨海公園があるのがバスから見えた。その付近には前日、船から見えた、かつての網走／知床の観光船「おーろら2」もいて探しに行きたかったが、時間が無くて行けなかった。



国立海洋博物館前の臨海公園から



韓国の練習船「HANBADA」(奥)と「HANNARA」



国立海洋博物館と保存展示されているヨット2隻と潜水艦



影島の先端を周る遊覧船



釜山国際フェリーターミナル東側の内航船溜まり  
ひきめしあっていた